

認知症サポーターにいませんか？

川越市では、認知症になっても安心して暮らすことができるように「認知症サポーター」を養成しています。

多くの市民の皆様「認知症サポーター」になって頂き、認知症の人やそのご家族を見守り、『安心して暮らせる川越市』を市民の皆様と一緒につくっていくことを目指しています。

日程 : 平成25年 7月11日(木) 18:30~20:00

農業ふれあいセンター研修室

担当包括 : よしの 049-298-7807

平成25年 7月18日(木) 19:00~20:30

中央公民館1階講座室

担当包括 : 小仙波 049-227-7878

平成25年 9月18日(水) 14:00~15:30

中央公民館1階講座室

担当包括 : 小仙波 049-227-7878

※各回とも同じ内容になります。お電話でのお申し込みが必要です。

講師 : 認知症キャラバンメイト

認知症サポーター活動例

(サポーターA子さん)
〇〇さん家のおじいちゃん。道に迷ってるのかな？

わしはどこに来たのか？家はど
う帰ったら・・・

〇〇さん、こんにちは。
どうしましたか？
一緒に家まで帰りま
せんか？

ああ、ありがとう。

よかった。こ
の人いい人
そうだし安
心だな。



正しく知ってください、認知症。

認知症は誰にも起こりうる脳の病気です。85歳以上では4人に1人がその症状があると言われています。現在は全国で169万人ですが、今後20年で倍増することが予想されます。

認知症の人が記憶障害や認知障害から不安に陥り、結果周りの人との関係が損なわれることもしばしば見られ、家族が疲れきって共倒れしてしまうことも少なくありません。

しかし、周囲の理解と気遣いがあれば、おだやかに地域で生活していくことも可能です。

認知症サポーターになるには

講座を受講すればどなたでも「認知症サポーター」になれます。

「講座」は概ね60分～90分程度で、認知症の基礎知識や認知症の方と接する心構えなど講義形式で行います。

Q. 認知症サポーターってなに？

A. 何か特別なことをする人ではありません。認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を暖かく見守る応援者として、自分のできる範囲で活動します。

また、認知症サポーターの方は「オレンジリング」を腕や名札、鞆などにつけて、「認知症の人を支援します。」という意思表示をします。

「安心して生活できる川越市」を実現するためには、市民の皆様の温かい見守りの目が、今まさに必要になっています。



講座に関するお問い合わせは、担当の地域包括支援センターまで

※地域包括支援センターは川越市から委託を受けている高齢者の総合相談機関です